

創立63年の歴史に刻み込む

「ときめきにあふれ  
やすらぎのにじむ

綾南中学校」の**集大成**



綾南中学校 学校便り No.17

2021年10月18日

## “つぎ”<sup>うた</sup>に届ける合唱物語の完成！ そして新たな物語の始まり…

10月15日(金)、閉校記念校内音楽祭を無事に終えることができました。当日朝の学校での最終練習に始まり、アイレックス大ホールへ移動しての学年ごとのリハーサル、そして本番での演奏と続く、熱い一日が終わりました。

9月当所は、いざ開催しよう！を決めたものの、本当に無事開催できるのか？練習の時間、期間、回数、場所の制限がある中、本当にクラス合唱として仕上がるのか？などの不安でいっぱいでした。

しかし、子どもたちは感染症対策を守り続け、無事当日を迎えることができました。本番では、どのクラスも一体感があり、見栄え・聴き応えのある合唱ばかりで、当所の不安は吹き飛んでしまいました。その歌声に魅了されたのは私だけでなく、フロアの子どもの微動だにせず聞く態度、演奏後の盛大な心地よい拍手の音等から、会場に集う仲間はすべて同じ心持ちであったのだろうと容易に想像ができました。

本番前最後の1週間。子どもたちの向上心や練習へのこだわり、寸暇を惜しんで練習に追い込みをかける姿は凄まじく、どのように歌えば聴く人の心に響くのか、クラスに貢献するには何をどう改善すればよいのかなど、子どもたちなりに試行錯誤する姿が見られました。そんな中、元来歌うことが好きではなかった生徒からも「合唱って楽しい」という言葉も聞かれました。本番での飛躍的な歌声の成長の裏には、このような子どもたちの努力が隠されていました。子どもたちの底力には目を見張るものがあり、胸が熱くなりました。

また、集団のもつ力は極めて大きく、友達からの刺激、他のクラスからの刺激、他学年からの刺激などの様々な刺激は、共鳴し合って、子どもたちは一步一步着実に成長していると改めて感じました。

さらに、特別審査委員としてお招きした綾川町教育委員会松井輝善教育長様からは、閉会式の講評の中で「香川県に留まらず、全国に誇れる綾南中学校の合唱文化」という最大級のお褒めの言葉をいただきました。



【ステージを彩る見事な横断幕：制作 美術部】

さて、今回の閉校記念校内音楽祭のサブテーマは「“つぎ”に届ける合唱物語」。令和3年度、そして綾南中学校の63年間の歴史に刻む校内音楽祭のストーリー（物語）は完結しましたが、“つぎ”に向けて新たな物語は既に始まっています。1・2年生が、しっかりと伝統を受け継ぎ、綾川中学校に“届け”、さらに進化させてくれると期待は膨らむばかりです。

閉会式後の子どもたちの表情は皆穏やかで、「やり切った感」にあふれて



ていました。多くの感動を手にした子どもたちは、ともに頑張ることのすばらしさや心地よさを実感していることと思います。これからも、集団の中で切磋琢磨しながら喜びや悲しみを味わいつつ、様々な壁をともに乗り越えながら心身ともにたくましく成長することを切に祈念しています。



令和3年10月15日(金) 閉校記念校内音楽祭 フォトグラフ

【1年生】

【2年生】

【3年生】

【一組】



【二組】



【三組】



【四組】



【五組】



【合唱部演奏】

【結果発表・表彰式】

【グランプリ表彰 3年5組】